



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099(226)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円

道標



「信徒・修道者・司祭の集い」開催

―来年開催の信徒大会を見据え 反省と現状を分かち合い未来を探る―

奄美地区

二月二十一日(日)聖心教会で「奄美地区信徒・修道者・司祭の集い」が開かれた。この集いは来年二月開催予定の「奄美地区信徒大会」で同地区の五年後、十年後の宣教司牧ビジョンを決めるための準備として開催されたもの。信徒、修道者、司祭の代表がそれぞれの立場で現場からの生の声や思いを発表した。

「司祭主導ではなく、信徒と修道者、司祭が共に祈り、思いを分かち合い、神の民がひとつになる」と二〇〇八年六月から定期的にこの三者が膝を交える形で「奄美地区宣教・司牧を考える会」を開催してきた奄美地区教会(地区長・小隈憲士神父)は、これまでの会の成果の積み重ねと昨年開催された教区評議会での手応えから、来年二月二十日の「奄美地区信徒大会開催」を決定した。

これは、二十年前「教区宣教百周年」を機に各小教区で、各修道会と未来に向かう姿勢を探り、「小教区・修道会ビジョン」として発表し、それを受けて教区でも「福音を生き、広めて行く共同体になる」という教区ビジョンとして謳ったものの、これまで「その実現のためにどれだけ汗を流したのか」「あのときの思いはどうなったのか」「現在の教会はどうなのか」などその成果についての振り返り



う」という奄美地区教会は、この日の「奄美地区信徒・修道者・司祭の集い」で発表された各小教区、修道者、司祭たちの思いを真摯に受け止め、各小教区での分かち合いの材料とし、一年をかけて準備をすることになっている。

表二人、司祭二人、助祭一人の計十二人。信徒代表からは信仰体験発表や地域のバザーに教会の庭を提供しているなどの「開かれた教会」実現のための現状報告、高齢化に伴

4月25日は世界召命祈願の日

神は、すべての人が誠実に自分の生涯を過ごすように招いています。ある人は社会の中で会社員、医師、看護師、教員、工場で働く人として、また夫、妻、父、母としてよい家庭を築くように、そして、ある人は神と人とに仕える司祭、修道者となるように招かれています。神の招きはこのように人それぞれ異なりますが、自分に対する神の望みを祈りつつ探していくことが大切です。近年、司祭や修道者の減少、高齢化が進んでいます。とくに「世界召命祈願の日」には、司祭、修道者への招き(召命)に一人でも多くの方がこたえることができるように祈りましょう。この日は、教皇パウロ6世によって1964年に制定されました。

晴佐久神父招き カトリック北薩大会 5月30日

阿久根、出水、入来、大口、川内の北薩地区教会の結束力を高め友好を深める「カトリック北薩大会」が、今年(五月三十日(日))鹿兒島純心女子大学川内キャンパス「江角記念ホール」で開催される。

今年の大会のテーマは「混迷する現代に輝く信仰―福音宣言―」で、講演会とミサがある。講演の講師には「星言葉」「だいじょうぶだよ」など数々の著者で、毎年多くの人を洗礼に導くことで有名な晴佐久英神父(東京教区・多摩教会)。北薩地区教会では、地区以外の人にも参加して欲しいと呼びかけている。大会は十時半からミサ、昼食を挟んで十二時半から講演、その後閉会式となっている。

新風

司祭年も残すところ三か月になりました。信者さんからはいつもより熱心に祈りつつも、お礼のつもりで司祭の果たすべき役割について考えてみます。

昔、教会学校の子供に「神父さまは毎日何をしていますか?」と聞かれたことがあります。教会学校と日曜日のミサ以外の月曜日から金曜日までの仕事のことを聞いていたのだと分かりました。彼らのお父さんは毎日決

キリストの忠実、司祭の忠実

―司祭年のテーマ―

められた時間にお仕事をしているの当然の質問です。 当時わたしは主任司祭のほかに教区報の編集や本部の仕事、それにミッシェンスクールの授業、教師などを受け持っており、教会には金、土、日曜日しかいませんでした。それで子供への返答もしどろもどろだった

と記憶しています。ところで、司祭の役務は三つあります。①祭司職、②預言職、③牧職です。祭司職とは秘跡の執行者のことです。七つの秘跡を正式に執行します。司祭は神に奉獻された身分です。したがって、ささげる者であると同時に聖なる生贄にもなったキ

リストに倣い、司祭は自分自身を神への聖なるささげものになるように日々精進すべきです。 次に司祭はキリストの預言職を果たします。預言者とは神の言葉を預かって人々に伝える人のことです。自分のことではなく、神さまのことを自分のことばで伝えることが肝心です。(H・N)

YET

ゆるしの秘跡の糾明時に思ひ出してしまふのは、四十五年ほど前に犯してしまつた罪のこと。今でも心にあの日の思いが鎮座ましましていて、時折、僕を責め、そしてあらゆる過ちを犯してしまつた際に「やっぱりな。やると思つた」と冷めた目で見つめる。その頃、週に二度ほど、お風呂をもらつていた大家さん宅の子ヒロちゃん、あこがれだった「鉄人二十八号」のリモートコントロールの玩具を買つてもらつた。赤と青の銅線を引きずつていたものの、乾電池で動き、右にも左にも方向を変えるその雄姿に魅せられた自分だった。鉄人を動かしてみたら、鉄人を動かさせてはもらえなかった。ある日、幼稚園から帰ると大家さんの縁側にその鉄人がいた。嬉しくてそうしたのか、妬みでそうしたのかと問われると多分後者だ。何を思ったのか、その頃流行のプロレス技よろしく鉄人を振り回してしまつた。そしてコードの接着部分が離れて動かない鉄人となつた。一目散に逃げ帰つた六畳一間の暗い自宅で「やつてしまつた。どうしよう」とドキドキしたことを憶えている。▼「人は見えていない▼」も神様は、「そう言われ続けた幼稚園時代だったのに、やらしたことを詫言わず、その件に関しては口をつぐんだ。ヒロちゃんなどんなに悲しんだか、鉄人が雄姿を失いどう処理されたのか、まったく記憶に留めていない。あの件は忘れたかったのだと思う。その代わり何者からか「卑怯者」の烙印を押されたという思いがずっと続いている。

今回は『復活』について神学的にどのように捉えたいのかに、学びを中心としながら深めて行きたいと思えます。聖書箇所は復活節第二主日(使徒言行録11・12、黙示録一・9、ヨハネ二十・19、ヨハネ二十一・19)を使用致します。

司祭不在時における集会司式の形式で進められますが、ミサの形式と殆ど同じなので割愛致します。聖書の朗読後、復活について互いに理解を深めるため幾つかの神学者の文書からその理解を深めたいと思います。

I「カトリックの信仰」(あかし書房、一九九三年改訂版、75頁、鹿兒島教区司祭評議会編) 竹山神父様がまとめて下さった復活理解です。初めてキリスト教に出会う人を対象に、歴史的にどのように信仰が形成されてきたかを短く、分かりやすく説明して下さいます。以下にその要約を記します。

『イエスの死後、弟子たちはイエスが彼らに現れて下さったという証言があり、また逃げ散った弟子たちが恐れることなく「イエスはキリストだ」と宣べ伝え、自分の命さえ捧げた者も数多く、次第にイエスをキリストと信じる人々が増していったという二つのことが歴史的な事実であること。しかし歴史的検討だけに基づいてその事実性を客観的に否定することも証明することもできない。復活というところで意味しているのは、父なる神が、あのように生き、死んだナザレのイエスを死の束縛から解き放ち、人類の救い主としてご自分の栄光を分かち合うべく受け入れたということである。そういう信仰を表明してい

る言葉なのである。：中略：従って復活というものは信仰の対象であって立証する対象ではない。キリストの復活を信じる信仰によって支えられている。ただ、復活を信じるか否かは人間の存在の意味を根本的に変えてしまうことになる。以下にキリスト教が知り信じている基本的なことを要約してみよう。

① 聖書は復活ということは何よりもまず父なる神の業と理解している。すなわちイエスが死に至るまで示した忠実さに対する父なる神の受け入れ、ないし応答という意味である。それはまたイエスが証した現実

から免れたことを示しています。これらは、復活されたイエスとの出会いに弟子たちを備えさせました。六五八「死者の中から最初に生まれた方」(コロサイ一・18)であるキリストはすでに今から、わたしたちの霊魂を義とする事によって、後には、私たちのからだを復活させることによつて、私たち自身の復活の源となられます。

北薩地区宣教奉仕者(信徒使徒職)養成講座

イエスの「復活」を巡って

出水教会主任司祭 大松 正弘

への父なる神の承認であった。

② 「イエスは生きていくる！」という表現で復活を語ろうとする。生きるものすべてに共通の束縛と見える死はイエスに及ばない。イエスは神と共に生き、私たちと共にある。

③ 「イエスこそキリストである」という信仰の告白はイエスが待ち望まれた救い主であるという確信をもたらし、その確信は旧約聖書で神にのみ用いた呼び名「主」をイエスを指すのに用いた。

II「カトリック教会の力」(カトリック中央協議会発行、二〇〇二年発行)本書は一九九二年に第二バチカン公会議三十周年を記念して出版された、前

質、つまり別の命への移行は感覚で捉えることはできないのです。空の墓のしるしと使徒たちが復活したキリストと出会った事実とによつて確認される歴史的出来事であるキリストの復活は歴史を超越し、凌駕するものとして信仰の神秘的な核心をなしています。

① 福音の完成。聖書はイ

**+KABAYAN SEKSIYON+
"PAGLALAHAD"**

Ano, kung gayon, ang mga malalaking sagabal sa tunay na Pananampalatayang Kristiyano sa Pilipinas ngayon? Ipinaliliwanag sa Ikatlong Kabanata ang ilan sa mga kabalintunaan ng Pananampalataya. Ang katiyakan at pagkamakatwiran ng Pananampalataya ay maaaring mag-akay sa ilan tungo sa makatuwirang pag-aaral sa pananampalataya (dogmatismo) samantalang ang kalabuan nito ay nagtutulak sa iba upang maging mapamahihin. Ang pananampalataya bilang isang kaloob ay nagbubunsod kung minsan sa isang paniwalang "bahala na." Ang pagbibigay-diin sa kalayaan ng pananampalataya ang nagdadala sa ilan sa isang makasarili at pansariling pananampalataya. Kahit ang personal na katangian ng pananampalataya ay maaaring maipagkamali na mangahulugan na pansariling lamang at tinatangihan ang anumang pansambayananang dimensyon.

Maaring pangkatin ang mga sagabal sa tunay na pananampalataya ngayon ng mga Pilipino batay sa tatlong saligang dimensyon ng pananampalataya: paniwala, pagkilos at pagsamba.

A. Kawalan ng Paniniwala laban sa May Paniniwala-Sa Kasulatan, ang suliranin ng kawalan ng paniniwala ng bayan ng Diyos, kaiba sa pagsamba sa mga diyus-diyusan ng mga pagano, ay isang paulit-ulit na sagabal. Tatlong pangunahing uri ng "kawalan ng paniniwala" ang mapupulot natin at nananatiling may kaugnayan sa ating panahon ngayon. Una, ang simpleng pagtatwa na mayroon Diyos o na "si Hesu-Kristo ay Panginoon, ang bugtong na Anak ng Diyos." "Wala namang Diyos!" ang sabi ng hangal!" [Salmo 14:1]. "Sino nga ang sinungaling? Hindi ba ang tumatangging si Hesus ang Kristo?" [1Jn 2:22]. Karaniwan na ang ganitong pagtatatwa ay bunga ng maling kaisipan tungkol sa tao at sa Diyos. "Nagbubunga ng mahinang pananampalataya ang maling kaisipan nila tungkol sa pagiging tao. ang iba nama'y may napakamaling pagkakilala sa Diyos na. ang pagtatatwa nila ay walang kinalaman sa Diyos ng mga Ebanghelyo". B. Ang kasalungat na uri ng kawalan ng paniniwala ay ang paghahanap ng "di-pangkarinawang kaalaman" tungkol sa kapalaran at hinaharap ng isang tao. Matagal ng ipinagbabawal ang dibinasyon (kulto), pangkukulam at salamangka.. K. Ang ikatlong sagabal sa Kristiyanong paniniwala ay ang likas na pagkamasarili o kapalaluan na tumutukso sa lahat ng tao upang tingnan ang anumang pagtitiwala sa Diyos na laban sa kalayaan at kaganapan ng tao. Mula sa ganitong asal-pananaw umuusbong ang pag-aalinlangan, mga pagdududa at kawalan ng paniwala. Kumusta ang ating paniwala sa Diyos? Sa susunod uli.

4月の会と催し

1日 (木)	聖木曜日 (主の晩さん)
2日 (金)	聖香油ミサ・ザビエル教会・10時
3日 (土)	聖土曜日
4日 (日)	復活の主日
11日 (日)	復活節第二主日 (神のいつくしみの主日)
13日 (火)	奄美例会
18日 (日)	復活節第三主日
19日 (月)	北薩地区宣教奉仕者養成講座・大口教会・14時
20日 (火)	定例司祭集会・教区本部・10時
22日 (木)	アン神父叙階記念日 (二〇〇六年)
25日 (日)	復活節第四主日
28日 (水)	典礼研修会・ザビエル教会・13時30分
29日 (木)	マインエル神父命日 (一九七八年)
	ハンマ神父叙階記念日 (一九六三年)
	アッシュヤー神父叙階記念日 (一九六四年)
	橋口啓悟神父叙階記念日 (一九九六年)

【司教日程】 5日鹿兒島純心女子大学入学式、17日青年たちとのミサと分かち合い、19日司祭評議会と教区司祭会、20日定例司祭集会

精神障害者の受け皿に

鹿児島オリーブの会(仮称)が初代会

二月二十八日(日)午後、教区本部で「鹿児島オリーブの会」(仮称)の第一回会合が開かれた。医師や看護師など医療従事者が中心となり十六人が出席したこの日の会合で話し合われたのは、複雑化している社会の中で精神を病んだ人たちの受け皿を教会内に確立しようというもので、教区としての新たな一歩。

韓国神学生(鹿児島教区) インチョンカトリックに入学

昨年、鹿児島教区の新入生として受け入れられた三人の韓国神学生がインチョンカトリック大学に入学し、司祭職への新たな一歩を始めた。新たな神学生はドミニコ・ソン・ジン・オック、アントニオ・ジェオン・ベオ、ジョン・フランシスコ・パルク・チャン・キュウ。

久保裕己神学生 祭壇奉仕者に選任

日本カトリック神学院の教区の久保裕己神学生が三



久保裕己神学生



韓国神学生と中野・泉の両神父

後、ドミニコさんとアントニオさんは二年間の修士課程に入り、フランシスコさんは四年間の神学部の課程を終えた後、二年間の修士課程に入る予定。

祈りは人知を超えて

司教執務室便り

最近大病への祈りの依頼が多い。これまでの四人に一人が加わったと思つたら立て続けに二人が加わり彼は七人目だ。最近二人が加わったので九人になった。「祈って貰う人は祈って貰うことのない人に比べて病気の治りが早い」「人は人のために祈るのか」村上和雄著」という遺伝子学者の本は祈りの効用を熱く説いていて祈りに一段と力が入る。信者必読の書だ。

「久しぶりです。実は肺ガンの宣告を受けまして…」数年ぶりにももらった電話は、あることから家族ぐるみのお付き合いが始まった知人からだった。退院したら鹿児島に行くので会いたいということだったが、電話での声が出るので少し安心したが、毎日お祈りすることを約束して電話を終わった。約束の日には二時間ほど話して帰ったが、転移しているものの元のガンが縮小し、

血液中の数値も低くなっているということだった。それは、主治医が言うように「治療の結果」には違いないがあの科学者なら「祈ってくれる人がいたからです」と言うに違いない。「ガン縮小」のニュースは彼の無神論者としての冷めた感性を少しづつ氷解させていったらしい。「これまで受け入れることのできなかつた免疫力の話、笑いが血糖値を下げるなどなど非論理的なこと心を開くようになった」のだという。また「自分が行くところは教会だと思つた」とも。「洗礼を受けるには？」との質問に最近出版された「カテケジス要約」をプレゼントした。体の癒しとともに魂までも癒されていることにまさに「神に感謝」だ。九人の方々の最も美しく輝く姿をイメージしながら癒しを祈り続ける。そして「あなたが讃えられますように」と結ぶ。血色のいい彼との再会に驚いたが新しい命の始まりの予感を強くした。



「短信」

御言葉と祈りの集い

三月八日(月)と九日(火)の二日間、教区本部二階会議室で、裏辻洋二神父(イエズス会)の御言葉と祈りの集いが開かれた。

▼ホルステック療法「心を軽くする黙想会」

坂本進神父(種子島教会)の心を軽くする黙想会が、三月十五日(月)ザビエル教会で開かれた。▼スピリチュアルケア三日間研修「価値観の明確化」



中にあるのです。それらは、内側の世界への「入口」であり、あるいは、こちら側からその世界へ渡るための「橋」のようなものです。

たとえば、電話の着信音、そのままではただの着信音に過ぎません。それだけではメッセージの内容は分かりませんね。受話器を(携帯だとボタンを押す)取って向こう側と「つながって」初めてメッセージが伝わってくるのです。聖書「についての」知識も着信音にすぎません。こちら側と向こう側をつなぐ「橋」が必要です。御言葉の分かち合いは、その橋を架ける祈りです。

～和善のご案内～

▲和善の学びは直線的ではなく螺旋的に進行しますから、少し忍耐が必要ですが、何時からでも、どなたでもどうぞ!

■於・本部3階: ※月 18:30 (救済史+AsIPA) ※水 10:00 (救済史+AsIPA: 第2, 4) —WAZEN ころろ相談室(第1・第3: 要予約 ☎099-226-2430 Ms. ヤマダ 火水木土 13時~15時) ※金 10:00 (救済史+AsIPA)

◆和善耕心塾ブログ◆

<http://mr826.net/wazen/blog>

[和善の窓から] その⑥ あなたの内側と繋がる 御言葉の分かち合いの祈り

私たちのからだの内側には、頭とは全く異なる仕方で、物を知っているという能力があります。しかも、それはあなたに「話したがっている」ものですし、あなたからとって「聞かれたがっている」ものでもあります。考えると、分析するとかという方法、つまり「頭」では到達できない知識があなたの「からだ」にはあるのです。私たちは、頭の思考能力よりも、からだの「感じる能力」から多くの知識を得ていると言われます。

問題は、そこにどのようにして「つながって」いけるのかということです。内側の豊かさにアクセスするには「考える」ことによってではなく、あらゆる気持ち、感情、また身体的感覚などの助けを借りてするのです。ある人に関する感じ、最近の生活状況に関する感じ、ある問題に関する感じ…、はじめはぼんやりしたもの、あるかないか分からないくらい、掴みどころがないものですが、こうしたあらゆる感じ(気持ち)には、「内側の豊かさ」の一部が、すでにその

マリア山荘黙想会

恒例のマリア山荘主催の黙想会(前期)が今年も五月と六月に開かれる(詳しくは下記の別表)。今回のテーマは「人間の神秘」で、日帰り黙想会と一泊黙想会が用意されている。講師は永山幸弘神父で、参加費は日帰り黙想会が弁当代込みで千五百円、一泊黙想会は三千五百円(夕食・朝食代を含む)となっている。参加希望の方は住所、氏名、電話番号を記入し、「マリア山荘黙想会係」(〒八九九一六四〇四 霧島市溝辺町麓三六一六一 四三二〇 〇九九五五八四三二〇 〇九九五五八四三二〇)へはがきかファックスで申込むことになっている。

橋口ヤエさん

が三月二十日(土)二十二日(月)まで教区本部二階会議室であった。

三月十二日(金)川内教会の橋口啓悟神父(レデンプトール会)の母堂・モニカ橋口ヤエさんが、入所先の松山市のグループホームでその生涯を閉じた。八十八歳だった。ヤエさんの葬儀は三月十四日(日)カトリック西都教会でしめやかに執り行われた。

テーマ「人間の神秘」(創世記1~3章)

日帰り黙想	第1回	神の似姿としての私たちの霊性	5月20日(木) 10:30~15:00
	第2回	罪の本質を見つめる	6月24日(木) 10:30~15:00
一泊黙想	第1回	神の似姿としての私たちの霊性	5月15日(土) 16:30~16日(日) 10:30
	第2回	罪の本質を見つめる	6月19日(土) 16:30~20日(日) 10:30

オーバン神父さまの思い出

司祭年に因んで

大熊小教区浦上教会 平 三 國

奄美大島カトリック宣
教史の中で昭和九年から
世界大戦終戦後二年の昭
和二十二年までの十三年間
は、教会弾圧がひどくなり
宣教師全員が追放されて、
司祭不在の苦しく、悲しみ
の島だった。



オーバン神父(左)とフエ
リクス神父

ある町に住んでいたとき
のこと。我が家の近くに老
夫婦が住む家があった。そ
こを通らなければ我が家
は帰れなかった。老主人は
酒を飲むと裸同然の姿で門
口に立ち大声で演説(?)
を始める趣味があった。
老奥さんは、妻に言わせ
ると「いやなおばさん」だ
った。妻が買物などの通り
がけに挨拶をするときのお
ばさんは「舌をペロリと出
して無視する」と。「いや
なおばさん、顔を合わせな
いようにしたい」と妻。
「人にしてもらいたくない
と思うことを、人にもしな
さい(ルカ6の31)とキリス
トは教えているだろう。あ
なた(妻)はカトリックの
信者、しかもあのおばさん

は年上の人。どうあろう
と、挨拶をするのは当たり
前こと。それも義務感から
ではなく、心からしなければ
いけない。義務感ならシ
ンドサが残る。心からなら
きつとさわやかさがある」と
と話した。妻も思うところ
があったのか、以後あのお
ばさんのことは何も言わな
かった。
わたしが転勤になり、妻
が引越しの準備をしている
と、隣近所の奥さんたちが
加勢にみえた。おしゃべり
をしながら荷物の整理をし

みことば シリーズ(自)

いやなおばさん

終身助祭 桃 蘭 淳 一 郎

「あのね、あのおばさん
がお菓子を持って加勢にき
た。そして妻に「何かして
あげたの」と聞く奥さんた
ち。妻は「何もしていな
い、ただ挨拶していただけ」
と。そして「その日はとて
も楽しかった」と、帰宅し
てみると、「あのおばさん
がお菓子を持って加勢にき
た。そして妻に「何かして
あげたの」と聞く奥さんた
ち。妻は「何もしていな
い、ただ挨拶していただけ」
と。そして「その日はとて
も楽しかった」と、帰宅し

「見てください。あなた
が
いやなおばさんといつて
挨拶もせず、顔を合わせる
こともしなかったとしたら、
『今日』はなかつた筈。神
さまはあなたを使つてあの
奥さんたちに『愛』とはど
歌いながら。

催し物のお知らせ

4月19日(月)10時~12
時 ザビエル教会1Fホー
ル 講師:坂本進神父
参加費:500円

●黙想会「イエスの霊に活 かされて」

4月24日(土)10時~25
日(日)16時マリア山荘(霧
島市溝辺町麓3616-4)
講師:W・キッペス神父

申 込 : 西 (TEL
0995-63-1943) 宮地 (TEL
099-262-4022)

●スピリチュアルケア5日 間研修「人間関係とコミュ ニケーション・傾聴」

5月1日(土)~5日(水)
教区本部2F会議室
講師:W・キッペス神父
参加費:40,000円

申 込 : 松村 恵 理 (TEL
099-248-2412)

その帰り路で沈みゆく夕
陽に向けて運転しながら、
急に「義ちゃんに告解しま
す。私は時々胃袋性低気圧
がおこります。今日はあな
たをおこりました。ミヤク
ルバ、ミヤクルバ」と言っ
た。バチカン公会議前は前夜
から一滴の水さえ飲まず食
べずでなければ聖体拝領が
できなかった。
幸町に、木造瓦葺きの聖
堂、司祭館が完成し、周囲
は幅広い犬走コンクリート
だった。神父さまはこの周
囲のコンクリートで、よく
歩きながら聖務日課を祈つ

ておられた。高校生(約
五十人)や青年たちの指導
もされていた。当時三十代
と若かった神父さまは「ド
ジャース」というカトリッ
ク野球チームを結成し、市
内の大会へも参加してい

た。そんな神父さまの説教
で心に残っているのは次の
ような内容。
「アルファベットのI
(私)を横に切る(犠牲)
と十字架となる。イエズス
さまは己を十字架の上でさ

信仰と漢字(十四)

純心学園 司祭 岡 俊 郎

毎朝、純心聖母会のシ
スターたちときさげるミサ
で、恵みとたくさんのやる
気を頂いています。信仰生
活とは、神の親心から見る
と「子どものやる気を育て
る」ということでしょうか。
やる気は「遣る気」と書き
ます。何かを積極的にやる
うという気持ちです。
「やる」(遣る)という他
動詞を調べてみました。す
ると(旧)他の場所へ移す。「車

外に目をー(向ける)「
子どもを大学にー(行か
せる)」「一人娘を嫁にー
(嫁がせる)」と一般的な使
い方が豊かです。続いて(用
はつきりしない心やふさぎ
がちな気持ちを何かで紛ら
す。(火)問題になつてい
るかをする。「よかれと思
つてー」「勉強をー」「タバ
コをー」「酒をー(飲む)な
どの意味を持っています。
他動詞ですから、他への

働かかけが自分のすべてで
あることを表しています。
これこそが本当に生きるこ
とです。人間は独りぼっち
では生きることがなく、必
ず他とのかかわりの中で生
きていますから。
ところが自動詞としての
「遣る」は、他動詞のそれ
とは違い、他の援助を受け
ず生活する意味で、他者と
のかかわりには否定的になり
ます。「天は二物を与えず」
ですから、万物は補い合っ
て初めて創造主のみ心にか
なう存在(働き)ができる
ようになるのだと漢字から
教えて頂きました。

さげて人類を救った」
神父さまは奄美大島で六
カ年宣教されて離任し、沖
縄の宣教へ赴かれた。「南
の光明」(那覇教区報)に「忘
れてはならない大恩人フェ
リクス・レイ司教様、レ
イモンド・オーバン神父様」
との見出しで、教区創立の
年に貢献した恩人に思いを
寄せ、感謝の心を新たに
したい」とある。もう五十年
余りも昔のこと、当時を
知る人も少なくなつた。こ
のような大恩人のお陰で、
今の奄美大島、琉球の教会
があるのだと思う。

文

芸

俳句

霧島市 政 ノブ子
ザビエル 上野千穂子
純心学園 山頭 信子
春驟雨献堂式は出会いなり
鹿兒島市 春山マリ子
青空に桜こぼれる夢(こち
鹿兒島市 徳永ノブ子
みな芽吹く主の計らいや限りなく

短歌

純心学園 川上 和
ヨルダンのかなたに響くイザヤの詩
春浅きオリブ山のゲッセマニ想いもあ
らたなげきの岩に
鹿兒島 前田 儀子
夕暮れの寒き暗さに森の樹樹無尽のまな
こつむりはじめむ
鹿兒島 春山マリ子
入所して山道歩き花摘みて飾る楽しさ幸
せの道